

日 時	令和8年9月15日（火） 13：25～15：30
学校名/機関名	高根沢町立北高根沢中学校
対 象	1～3年生（45名）
講 師	田村 晃 氏（株式会社アイディ 代表取締役） 古口 勇二 氏（株式会社古口工業 代表取締役） 大西 盛明 氏（株式会社オニックスジャパン 代表取締役会長）
内 容	中学1～3年生の生徒の皆さんが将来について考えるきっかけとなるよう、総合的な学習の時間に講話を行いました。 講話では、主に働くことの意義と喜び、中学生のうちから身に付けておくことが望ましいことについて話しました。まず、働くことの価値は他人のためであるとの視点を示し、誰かの役に立つことが仕事の本質であることを伝えました。次に、中学生が今からできることとして、様々なことに興味・関心をもち、失敗を恐れず挑戦する姿勢の大切さを強調しました。こうした経験は、必ず自分の将来を支える力になることを付け加えました。 最後には、講師から生徒の皆さんに「茨の道こそ、自己成長のチャンス。」「当たり前のことを当たり前のように当たり前にできる人を目指しましょう。」「失敗をそのままにせず、次に生かす努力をしましょう。」といったメッセージを送り、生徒の皆さんが進路や将来を考える上で、大きな学びとなる講話となりました。



